



「三重ぐるり」では、毎月テーマを設け、そのテーマに沿った三重県内の市民活動団体を紹介しています。今月のテーマは【地域活性化、まちづくり】。自分たちの住む地域をより良くするため、地域の特色を活かしさまざまな活動が行われています。地域活性化に力を注いでいる団体の活動を県内の市民活動センターから紹介していただきました。

## 白子まちかど博物館運営委員会

情報提供：市民ネットワークすずかのぶどう

☎ 090-1728-8760 ✉ itoq3@nifty.com



まちかど博物館とは、個人のコレクションや作品、地域の歴史と伝統産業、伝統文化が生み出した作品や資料を、まちかど（自宅や仕事場）で展示したミニ博物館です。

白子まちかど博物館運営委員会の主な活動として、伊勢型紙産地協議会と共催で地元鈴鹿の匠と出会う！イベント「匠の里～伊勢型紙フェスタ～」の開催、イベント運営の為にボランティアサポーター、地元大学の学生ボランティアの受け入れなども積極的に行っております。「匠の里」フォトコンテストを主催し、入賞式や作品の展示会をしています。また、近鉄ハイキングの受け入れも行い、観光客に対しお茶やみそ汁の振る舞い、鈴鹿グルメ弁当販売など地元ならではのおもてなしを行っています。他の地域のまちかど博物館との交流も大切にし、毎年鈴鹿・亀山まちかど博物館合同展示会を開催しております。

是非参加してください！  
お問い合わせください。

地域の人たちと楽しくまちおこし！

情報提供：津市市民活動センター

## 特定非営利活動法人津市 NPO サポートセンター

津市大門 10-7 ピッチャーズビル 4 階 ☎ 059-271-7782 ✉ kaidan@tsushimin.org



木曜日のボードゲーム Bar! は 20～30代を中心に 15名程が毎週集まり、地域の新たなコミュニティの基礎を築いています。

コミュニティスペース「kaidan（カイドン）」は、これからビジネスや活動始める個人の応援、コミュニティの場や機会の提供を目的として設立しました。個々が活発に活動し、人とつながり、楽しみを得ることができれば、その地に根付き、暮らそうと考える人の増加につながります。そのためのさまざまな仕組みを気軽に体験していただけるよう、イベントなどを定期的に開催しています。毎週水曜日は「水曜コワーキング」と称し、1日1000円で入退室が自由にでき、勉強や仕事などに集中していただける静かな空間を提供しています。がっつりとビジネスで、資格試験の勉強で、ミーティングでとさまざまな方にご利用いただいています。また、コミュニティがつくれるきっかけになればと、毎週木曜日には世界のボードゲームで遊べる「ボードゲーム Bar!」を開催しています。誰とでも垣根なくコミュニケーションが取れるボードゲームを通じて、自然に作られたコミュニティは少しずつ kaidan の外にあるコミュニティとつながりを持つようになってきました。

kaidan ってどんなところ？  
と思っただけでしたら、  
気軽にお越しください。オー  
プン日時の詳細は HP をご  
覧ください。

kaidan でつくられるコミュニティや個々の活動は、小さいけれど、地域とつながり、持続的に発展・拡大していけるような取り組み・運営を目指しています。

## 仁柿住民協議会

情報提供：松阪市市民活動センター

松阪市役所飯南地域振興局 柿野出張所 ☎ 0598-32-2004



1月に行われた道普請には、市内外からのボランティア41名が参加。重機が通れない狭い古道なので、スコップなどを持ち手作業で修復作業を行いました。

住民協議会は、地方自治を推進するために概ね小学校区ごとに設立された自治組織です。松阪市飯南町の仁柿住民協議会では、区域を通る伊勢本街道の整備、ウォーキングイベントの開催等を通して、区域内外の人へ古道やその沿道の魅力を発信する取組みに力を入れています。

上仁柿地区を通る「櫃坂道（ひっさかどう）・古坂（ふるさか）」の2つの峠道は、古くは東大寺（奈良市）への水銀を運んだ道であり、江戸時代には大阪から伊勢参りの旅人が通った古道でした。しかし伊勢湾台風で「古坂」が荒れたことから、地域の有志によって修復作業が行われ、平成20年からは同住民協議会が道普請を担ってきました。

また近年は道を守るだけでなく、街道の魅力を発信してこうとさまざまな取組みにも挑戦しています。区域内外の人にも古道の魅力を伝えるために、伊勢本街道の歴史を学ぶ勉強会や交流会の開催、道普請の作業、整備した街道を歩くウォーキングイベントなどを実施しています。

年1～2回の道普請、ウォーキングイベントを実施しています。時期などの詳細はお問合せください。

昨年度は、自分たちで街道沿いに並ぶ各戸の屋号を調査して、桜の木で手作りした看板を設置しました。今後も街道を中心にした地域の魅力を発信していきます。

## 外宮にぎわい会議

情報提供：いせ市民活動センター

伊勢市岩渕 2-1-48（割烹 大喜方） ☎ 0596-28-0281 ✉ daiki@mint.or.jp



「外宮さんゆかたで千人お参り」のスタート

20年前、市の中心地に近い外宮さんの参拝客が漸減しはじめ、駅前や商店街が空洞化してきていることに危機感を覚え、外宮さんの参拝客を増やすことが中心市街地の活性化につながると考え平成9年に活動を開始しました。まず会員自らが毎月1日の早朝に参拝することから始めました。

翌平成10年、かつて伊勢では夏の暑い盛りに、五穀豊穡と無病息災を祈願する「八朔参宮」の風習があり、これを現代に再現して、浴衣姿で外宮さんへお参りする「ゆかたで千人お参り」を実施しました。昨年18回目を終えましたが、参拝者数が2,500人を超え、総参加者数は3,500人を超えるほどになりました。また、戦後すぐまで、神宮ではお祀りに使う塩を二見から歩いて運んでいた史実に因み、二見町神崎海岸で汲んだ海水で作った御塩（堅塩）を、歩いて外宮さんまで運び奉納する「御塩道を歩く」事業を実施し、残りを「ゆかたで千人お参り」の参加者に記念品として配っています。

現会員から推薦してもらうことが条件ですが、毎月1日の早朝参拝に参加していただくこと、8月1日の「ゆかたで千人お参り」にボランティアで協力していただくことが必要です。

30歳代から60歳代までの男女約30人で構成しています。いろんな職業層から参加していただいております。月1回の例会と新年会、忘年会をはじめ、行事ごとの打ち上げ等で、会員の親睦を図っています。